

令和4年9月22日

各 位

会社名 株式会社 三東工業社
代表者名 代表取締役社長 奥田 克実
(コード：1788、東証スタンダード)

問合せ先 執行役員管理本部長 矢森貞行
(TEL 077-553-1111)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、令和3年11月25日に、スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。令和4年6月30日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の令和4年6月30日時点におけるスタンダード市場への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額について基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額に関して、上場維持基準を充たすために、各種取組を進めてまいります。

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価 総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の適合 状況及びそ の推移	移行基準日時点	598	3,316	8.65	48.3
	令和4年6月30日時点	748	3,444	9.61	50.2
上場維持基準		400	2,000	10.00	25.0
当初の計画に記載した計画期間		-	-	令和7年6月	-

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社提出の株券等の分布状況等をもとに判定を行ったもので、流通株式時価総額は、流通株式数に、事業年度の末日以前3か月間の日々の終値の平均値を乗じて算出しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価（令和3年7月～令和4年6月）

① 株価の向上

1) 成長戦略の推進

当社は建設業で成長するには人財の確保が最重要であると認識しております。建設従事者の高齢化が問題視されておりますので、計画では毎年3名以上の増加を図ることとしております。当社は若者の積極的な採用活動をしておりましたが、新卒採用者が1名しか採用できず、中途採用者1名を加えた2名の人材の確保をいたしました。引き続き不足分も含めた採用ができるように活動をしていきます。

2) 株主還元の充実

当社では経営成績に応じた配分を基本として、株主の皆様への安定的な利益還元と経営体質の強化を重要な経営方針の一つとして位置づけています。令和4年6月期の売上は土木部門で前期比15.1%減少し3,559百万円、建築部門で前期比2.5%減少し3,146百万円、全体で前期比9.4%減少の6,751百万円となりましたが、営業利益は土木部門で前期比27.7%増加し139百万円、建築部門で前期比3.1%減少し92百万円、全体で前期比22.7%増加の252百万円で大幅増加いたしました。その結果、株主の皆様への還元を1株につき45円から70円に増やすことを決定いたしました。

3) 企業認知度の向上

当社は、令和4年1月「第72回全国植樹祭お野立所新築および式典会場造成工事」を受注したことをPR情報として適時開示いたしました。令和4年3月には、滋賀県出身の女子プロゴルファー藤田かれんプロとの間でスポンサー契約を結びました。広告チラシ、新聞、雑誌、ポスター、パンフレット、ホームページ等へ掲載することができることとなりました。また、6月には将来世代を支える若者・女性支援に独自性、先進性のある取組みを積極的に行っている企業が対象の「将来世代応援企業表彰」をいただいたことをホームページに掲載いたしました。引き続きこのような当社の、社会に対する取組み活動を積極的にPRすることで、企業認知度の向上を図ってまいります。

② 自己株式の活用

当社の中長期的な企業価値及び株主価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与するとともに、株式を所有することで経営参画意識を高め、株主の皆様と一層の価値共有を進めることを目的として、令和3年4月に当社従業員を対象に譲渡制限付株式制度を導入し、令和4年7月に自己株式100株を処分いたしました。今後も毎年、当社従業員に対して譲渡制限付株式を付与することで、自己株式を活用するとともに流通株式数の増加を図ってまいります。

3. 上場維持基準の適合に向けた今後の課題と取組内容

当社の上場維持基準への不適合は、株価の低迷と流通株式比率は高いものの、流通株式数が少ないためであると認識しております。よって、上記の施策を推進し、株価の向上と流通株式数の増加とともに図ることで、流通株式時価総額を増加させ、早期に上場維持基準を充たすように取組んでまいります。

〔ご参考〕

令和3年4月～6月の当社平均株価 2,608円55銭

令和4年4月～6月の当社平均株価 2,790円33銭

以上